

# エクステンポのヒント

1. エクステンポを難しいと思っ**て**はいけない  
(自主的にできるようになるには**まず楽しくする工夫が必要**)
2. メモは詳細を書かず**流れ**を書く (時間を短縮)
3. Ideal は when if once at least を使って**具体的に** !
4. Negative なトピックでも Positive な話に変えて話してみよう
5. 2 分の内容を考えて 4 分でわかりやすく説明する **それがエクステンポ**
6. 最後の**センテンス**で Topic に戻ろう (オフトピにならない)
7. 出だしの**フレーズ**や内容は一番準備しておこう (イントロからつまづかない)
8. 自分**なり**の定型表現やプロバークを覚えよう
9. ワンワードを選んだら Social、Proverb に**からめよう** (みんなをあとと言わせる)
10. Thesis は**詳細**に (スピーチで最も大事な Part なので)
11. 難しい内容を話さなくていい。簡単な内容で自分**なり**の reasoning 具体化をしよう
12. 15 分で立派な R なんて出てこない。普通の R でよい。
13. 各要素 1 文~3 文あればよい。(10 の要素×2 文 = 300 語)
14. 情報量の多いスピーチが内容の濃いスピーチ**な**のではない。(一貫性があればよい)
15. 類似した情報を並べて一貫性を**持たせよう**
16. Why you は**当事者**じゃなくてもよい。  
(強い想いや学んだことが自分**なり**にあるんだ! ということが伝わればいい。)
17. Topic は**素早く**決める。単語やフレーズを見て何か思いついた自己体験やストーリーがあるならばあとはそこで何を感じ気づいたのかを書けばスピーチは自動的にできていく。それが 10 の要素の強いところ。イントロさえ決まれば後は自動的に**出来上がる**。

18. プロバークに関しては必ず賛成なのか反対なのかの意見を明示する
19. 10の要素は思いついた項目から埋めていこう
20. ポーズの位置、抑揚を考えよう（200語を覚えていれば、それを考える余裕も持てる）
21. 難しい Topic はあえて簡単な話でまとめる（それはユーモアになる）
22. How で困ったら Negative→Positive にとらえよう！と言おう！（大体通用する笑）
23. Audience は面白いと思っても笑わない。（後で面白かったよ！って言われる）
24. Important は Preciousness, significant, essential, meaningful に言い換える  
(多用を避ける)
25. 結局すべての要素は thesis に修飾する
26. イントロは超簡潔に（時間なくなる。45秒で終わらせられるイントロか？）
27. 慣れて来たら、200語を早口で言う。そうすれば自然に抑揚がつく。
28. スピーチの最後の言葉をその Topic で終わらせるとかっこいい
29. 気を付ける順 時間→オフトピ→内容
30. 本番前にノートの色付けしたところを見直そう
31. Topic の派生は1回が限度（オフトピにならない）